

学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立花園高等学校
校長名	久郷 正征

開催日時	令和 6年 10月 25日(金) 13:15 ~ 15:15
開催場所	府立花園高等学校 会議室
出席者(委員)	吉川測雄委員、宮本修三委員、堀信也委員、中西寛美委員、尾崎紗織委員
出席者(学校)	校長、教頭、事務長、首席2名、進路指導部長、総務部長、生徒指導部長
	教務部長、保健部長、国際文化科長、各学年主任、LGHS推進PT長
傍聴者	なし
協議資料	議事テーマ説明用資料
備考	

議題等(次第順)	
<ul style="list-style-type: none"> ■授業見学 ■教員の働き方改革について ■1回授業アンケート結果、本日の授業について 	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>■授業見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT端末等の環境整備をしているが、教科性もあり、全教職員がICTを使うという部分の難しさを感じる ・数年前に比べ、パワーポイントを使っている先生も増えており、学校として良い傾向にあるのではないかと考えている <p>⇒(委員より)教育現場にて、新しいものを取り入れるアレルギーに対する懸念は必ずあるが、そのなかで授業実践等、使ってみようとする担当の先生の役割は大きい</p> <p>■教員の働き方改革について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度と比較すると令和6年度時間外在校時間は減少 <p>⇒(委員より)中学校では、クラブの指導時間も含めると時間外在校時間を減らすことは難しい</p> <p>⇒(委員より)改革の前提として教育の質を下げないことが大事(今までどおり教材研究の時間を確保するetc.)</p> <p>⇒(委員より)教育の質を下げないという観点では、私学の無償化は目に見える行政の取り組み</p> <p>■第1回授業アンケート結果、本日の授業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気になる点としては、生徒の取り組みに関する数値が下がっている点。家庭学習の取り組み状況の低さ対策とセットで考え、家庭学習状況を改善して意欲を高め、取り組みに関する関心・意欲を高められるようにしたい <p>⇒(委員より)勤務する学校の事例としても、教員の働く時間を削ることにより、スタディサブリの対応等が疎かになり、結果的にわからないことが増え、授業に意欲的に取り組めない生徒がいたことがある</p> <p>⇒(委員より)自身の子どもが通う中学校では、スタサプをクラス対抗など、競争するような仕組みを作って、自宅学習の時間が向上した。生徒たちの取り組み意識を高めるための仕掛けをどう作るかが大事</p>	

次回の会議日程	
日時	令和7年 2月7日(金) 15:45~16:45
会場	府立花園高等学校 会議室